

Institute for Language Education
Aichi University, Nagoya
Goken News

No. 14 December 2005



アイルランド共和国のイニッシュモア島：
アランセーターの発祥の地であるアラン諸島最大の島で
人口は約900人。石を積み上げただけの石垣が延々と続く。

CONTENTS

- | | |
|--|-------------------------------------|
| ・フランケンシュタインの真実
（山田 晶子）.....2 | 海外最新事情 14 |
| ・「豊橋東ロータリー」と「愛知大学」
（常石 希望）.....4 | ・イギリス |
| ・映画『カーサ・エスペランサ』の示す
メキシコと米国の近くで遠い関係
（丸谷雄一郎）.....5 | ・韓国 |
| ・石敢當と山羊汁
（矢田 博士）.....6 | ・コンピュータで英語を学ぼう！..... 18 |
| ・クイーンズ・イングリッシュへの裏道
（安藤 聡）.....9 | ・2005年度外国語検定試験奨励金制度につい
て..... 19 |
| ・2006年度より仏検に準2級新設
（田川 光照）..... 12 | |

フランケンシュタインの真実

経営学部

山田 晶子

フランケンシュタインとは誰か？

「フランケンシュタイン」という名前を聞いて、身の毛がよだつ恐ろしい顔と体の怪物を思い浮かべる人は多いだろう。しかしこれは全くの誤解である。フランケンシュタインは小説中の人物で、18世紀に生きた、天才的に頭が良く見かけも美しい17歳の科学者である。スイスのジュネーヴの教養ある家庭の出身である。それではなぜフランケンシュタインという男は恐ろしい怪物であるという嘘が、巷に定着してしまっているのだろうか？フランケンシュタインの悲しみを一緒に考えて欲しい。というのは、彼の悩みは21世紀的なものと言えるからである。

まず、フランケンシュタインが現代の多くの人に知られるようになった経緯から述べよう。上述したように、彼は歴史上実在した人物ではなくて、小説中の主人公の名前である。小説の題名は『フランケンシュタインまたは現代のプロメテウス』（以下『フランケンシュタイン』と略す）（原題 *Frankenstein; or, The Modern Prometheus*, 1818）で、作者はメアリ・ウルストンクラフト・シェリー（Mary Wollstonecraft Shelley, 1797-1851）という名前のイギリス人女性である。彼女の両親は有名な知識人である。父親は『政治的正義』や『ケイレブ・ウィリアムズ』を表わした急進的革新思想家のウィリアム・ゴドウィンであり、母親は女性の権利拡張を求めて活躍し『女性の権利の擁護』を表わしたメアリ・ウルストンクラフトである。

また彼女の夫はイギリスロマン派詩人であり「西風に寄せる歌」という詩で世界的に有名なP・B・シェリーである。メアリ・W・シェリーが生きた時代は、イギリスでは産業革命が始まって工業化が進み、進化論が唱えられはじめ、電磁気学が発達し初めていた時代である。また、イギリスの対岸のフランスではフランス革命後の政治的大嵐が吹き荒れ、ナポレオンが台頭した時代である。

ゴシック+ロマン主義+SF

このような激動の時期（18世紀中頃から19世紀初頭）に、イギリス文学史上「ゴシック小説」と呼ばれるジャンルが発達した。ゴシックとは「ゴートの」という意味であるが、現代では「ゴシック体活字」という意味や建築学上の用語として用いられている。西欧で中世に建造された寺院や城で、長く細く高い尖塔や大きな窓をたくさん持っている建築物をゴシック様式と呼ぶ。イギリスのウェストミンスター寺院やフランスのノートルダム寺院が代表例である。ゴシック小説とは、このようなゴシック建築物を背景とし時代は中世に取り、美しく若い姫や娘が謎めいた事件に巻き込まれ、姿の見えない悪者から逃げまどうが最後には謎が解かれ救われるという筋をとっている作品が多い。H・ウォルポール（Horace Walpole, 1717-97）の『オトランド城』（*The Castle of Otranto*, 1764）が代表的である（ちなみに筆者が英文学科の大学生として、レポート用に初めて原書で読んだ作品はこの『オトランド城』であった）。ゴシック小説の主題は「恐怖と怪奇」である。メアリ・W・シェリーの代表作『フランケンシュタイン』も、ある意味ではゴシック小説のジャンルに入れられている。そして、神秘的なもの・超自然的なものを求めるロマン主義の要素も備えている。

またこの小説は19世紀末から20世紀にかけて広まり現代でもなお盛んに書かれ続けているSF小説の元祖と言えるであろう。SFとは Science Fiction の簡略形であり、「空想科学小説」と訳されている。これは科学技術や科学的認識を応用した作り話のことである。『フランケンシュタイン』

も科学を活用した話なので、SFと言えるのでありかつイギリスでの最初のSFなのである。

次に『フランケンシュタイン』とはどのような内容の小説なのかを簡単に述べよう。ヴィクター・フランケンシュタインという才能豊かな若者は、若くして母親を病気で亡くす。彼の悲しみはひどかった。大学で医学を学んでいた彼は、当時死者の再生という研究が盛んであったため、また人造人間の創造が議論されていたため、彼も死者の再生という研究に没頭するようになる。母親の死の悲しみが一因であった。そしてついに完成させたのが、犯罪者の死体を用いての人造人間であった。完成した人造人間には名前が付けられないまま、「それ」は逃げてしまった。「それ」は醜い外観を持ち体力と知能が人並みはずれて強かった。もし「悪」の精神がやどっていたなら「それ」は犯罪者になるはずであった。フランケンシュタインは「怪物」を造ったことを後悔し、「それ」を自らの手で始末しようとする。しかし「怪物」は悪い心を持ったものではなかった。善悪を知らない「無」の心を持っていた。しかし「親」であるフランケンシュタインから逃げて行った後、外観が醜いために他の人間達によって虐められ孤独地獄に陥った結果、ついには全ての人間に憎悪を抱くようになった。また自分が苦しむのは「親」であるフランケンシュタインが自分を創造したためであると考えると、フランケンシュタインに復讐をしてゆくことを決意する。彼の婚約者や他の罪のない人間の殺害を繰り返す。フランケンシュタインは、自分で始末をするためにどこまでも「怪物」を追ってゆき、最後には北極海に行き着く。フランケンシュタインは、自分が人造人間を造ったがゆえに社会に多大な災害をもたらしたことの良心の呵責に堪えかねて絶命し、怪物も氷の海の中に姿を消す。

その21世紀的テーマ

この小説はこれまでに何度も映画化されてきたのだが、そのおどろおどろしい内容に魅せられる人が多く、人気を博してきている。シェイクスピ

ア俳優であるケネス・ブラナーが監督しかつ主人公のフランケンシュタインを演じ、怪物役をロバート・デ・ニーロが演じた映画『フランケンシュタイン』は日本でも公開され話題になった。

しかしながら、他のSF小説を措いてこの小説がそのユニークさを発揮し、SF小説の中でも特に有名なのはなぜだろうか？それは、副題に「現代のプロメテウス」とあるように、「プロメテウス」的テーマのためである。プロメテウスはギリシア・ローマ神話に登場する巨神で、主神ゼウスと闘った神である。ゼウスが造った初めての人間に火を与えた巨神で、そのために、火を人間から隠したがっていたゼウスによって罰せられた。この罰がこの上なく残酷なもので、プロメテウスは山中の大岩に鎖で縛り付けられ大鷲が飛んで来て彼の肝臓を啄むというものである。彼は神なので死ぬことはなく傷は翌日には治るので、毎日鷲が肝臓を食べに来て、彼の苦痛は永遠に続くのである。大鷲を退治して彼の苦しみを終わらせた英雄がヘラクレスである。ゼウスに反抗した存在として、つまり権力者に反抗した存在として、プロメテウスは意味ある苦しみを味わう偉大な人間のシンボルとなっている。文学や絵画の主題にも繰り返し描かれてきている。アイスキュロス、P・B・シェリー、ギュスターヴ・モロー等の作品がよく知られている。更に、同様の主題を持った文学作品として、ジョン・ミルトン (John・Milton, 1608-74) の叙事詩『失楽園』(Paradise Lost, 1667) があり、神に反抗し罰せられた存在として有名な天使ルシファー (後の悪魔サタン) とアダムとイブが描かれている。またドイツ人ゲーテ (Johann Wolfgang von Goethe, 1749-1832) の『ファウスト』(Faust, 1790, 1808, 1832) の主題もそうであると考えられる。

人間を創ろうとしたフランケンシュタインもまた神に反抗した人物と言えるであろう。ゆえに彼は孤独と自責の苦しみを味わった。現代では、クローン人間の作成などで科学者の倫理が問われている。科学者の研究はどこまで許されるのか、という問題は、早くも『フランケンシュタイン』に

表れていた。神の技への挑戦は、人間の偉大さを示す仕事であると同時にまた謙虚さも求められる仕事なのである。

参考：『フランケンシュタイン』の翻訳書は、
角川文庫、創元推理文庫から出ています。

「豊橋東ロータリー」と 「愛知大学」

法学部
常石 希望



韓国・中央大学校と言え、周知のごとく愛知大学の姉妹校。医学部も備え学生数2万名をはるかにこえる韓国私立大学の雄である。愛知大学と中央大学校との姉妹関係は1996年に始まり、今年で10年目という一つの節目を迎える。その間の両校の交換留学生総数は40名を超え、また韓国セミナーに参加し中央大学校に約1カ月滞在了愛大生は120名を超える。10年という決して長くはない時間に、これほどの交流の数値に至っている点に改めて驚かされる。

ところで、ここで紹介しておきたいのは「豊橋東ロータリー」との関係である。上述したように、愛知大学と中央大学校が姉妹関係を開始したのは1996年のことであった。これには愛知大学側では陶山信男名誉教授、中央大学校側では故・黄聖圭（ファン・ソンギョ）教授の尽力が大きかった。ところが、同じ年「豊橋東ロータリー」と「中央大学校」との国際交流プロジェクトという姉妹関係も開始するのである。ここでも上記両先生の協力、特に中央大学校側の黄先生、また豊橋東ロータリー側では故・中村英彦氏、および中野博三氏を中心に国際プロジェクトが開始された。

つまり「豊橋東ロータリー」も「愛知大学」も中央大学校と姉妹関係を結び、しかも共に同じ年に、ということであれば、「豊橋東ロータリー」と「愛知大学」との関係は、まさしく中央大学校を介しての「兄弟関係」と呼ぶにふさわしいと言えよう。

「豊橋東ロータリー」では過去10年間にわたって様々な国際交流プロジェクトを実施してきたが、特に愛知大学と関係の深い交流だけを挙げれば、毎年7月に開催される、“中央大学校日本語日本文学科の学生数名と教員の豊橋招待”がある。つまり、韓国の学生諸君に三河文化を紹介し、名古屋を紹介し、従って日本を紹介しようというプログラムである。これには、より直接的に日本を肌で感じてもらうための「ロータリー会員の自宅ホームステイ」という熱意のこもったプログラムも含まれており、まことに頭の下がる思いである。また、同期間中にはかならず大々的なパーティーを開催し、ここには国際交流に係のある愛知大学教職員と留学生（特に中央大学校と関係のある愛大留学生）が毎年招かれている。冒頭の「写真」は本年2005年7月の同パーティーの一コマ、右側は豊橋東ロータリー・落合幸一郎会長、左側は中央大学校日本語日文学科・任英哲（イム・ヨン Chol）学科長。

以上、わが愛知大学とは国際交流を通して「兄弟関係」になる「豊橋東ロータリー」のことを紹介させていただいた。

映画『カーサ・エスペランサ』 の示すメキシコと米国の近く で遠い関係

経営学部
丸谷雄一郎

『カーサ・エスペランサ』は2003年に米国で制作された映画である。しかし、その舞台はメキシコのアカブルコらしきリゾート地であり、米国から来た6人の女性が話す英語以外はほぼ全編スペイン語の映画である。監督は『フィオナの海』のジョン・セイルズであり、主役6人の女性キャストは豪華で、『スプラッシュ』の人魚役を好演したダリル・ハンナ、『モナリザ・スマイル』のマギー・ギレンホールなど演技派で固められている。

内容は、原題 *Casa de los babys* (邦題のサブタイトルともなっている『赤ちゃんたちの家』) が示すように、米国から来た6人の女性が養子候補の暮らす『赤ちゃんの家』となっている修道院のあるリゾート地で、養子縁組の手続きを待つ状況を描いている。

近年、『トラフィック』『アモーレス・ペロス』『フリーダ』などメキシコの多様な側面を扱った秀作が多く公開されてきたが、この作品は映画の出来という点では素晴らしいものとはいえない。キャラクターの多さがストーリーとしての面白みや深さをなくし、展開もどことなく単調で、盛り上がりにも欠ける。しかし、この映画のこうした欠陥はみようによっては魅力となっている。万人受けはしないが、多様な断面を切りとっているだけに、メキシコや中南米に関心を持つ人にとっては議論の糸口となりうる映画なのである。

この映画が描く構図は米国とメキシコの貧富の格差を基盤としている。つまり、豊かな米国人が

貧しいメキシコ人の赤ちゃんを養子に求めるという構図である。しかし、この一見単純な構図は米国から来た6人の女性とそれを取り巻くホテルで働く人々を多様な側面から描くことによって、複雑な問題を訴えかける。6人の女性はこれまで不妊のために多くの傷を負っており、養子をもらいたいという目的以外には共通点はほとんどない。そして、映画の中では、彼女達が互いの母親としての適切さや人間性を辛らつに議論しあう部分が多く描かれ、これまで背負ってきた傷を会話の中から垣間みることができる。

彼女達が泊まっているホテルの女性オーナーは養子縁組のシステムをうまく利用し、営業を行っており、このシステムを必要悪と捉えている。彼女は養子を斡旋する事務局との対応を行っている弁護士と裏でつながっており、その弁護士も事務局とつながっている。彼女達は養子手続きを引き伸ばすことによって、米国女性の長期滞在を余儀なくさせているのである。そのホテルで働くメイドの1人は自分がかつて養子に出した子供を、次々と現れる養子を持つ女性客を見ながら思い出し、自分の子供が良い生活をしているようにと祈っている。また、ホテルのメンテナンスを行なう従業員は、一般の多くのメキシコ人が持っている米国への苛立ちを、酔ってはあらわにしながら彼女達のために施設の修理をする。

彼女達は養子を待ちながらリゾート地を観光するのだが、そこで出会う人々の中にも多くの社会



メキシコの子供達

(写真は上智大学増山久美さんより提供いただきました)

的矛盾が描かれている。彼女達の周りには常にストリートチルドレンの姿がみられ、彼らは赤ちゃんを求める彼女達と接点を持ちながらも、日々の暮らしのために犯罪に手を染め、その生活の厳しさゆえに、シンナーに走る。また、彼女達をガイドする人の好い男性は不景気のために失業し、米国への出稼ぎを望み、その元手となる資金を稼ぐために宝くじに夢を託すが、その夢はかなわない。さらに、彼女達の1人をなんばする青年はメキシコの高所得階層の内気な娘を妊娠させるが、そのことすら知らずなんばを続け、妊娠した彼女は生まれた子供を修道院から養子に出すことになる。

映画はたった1時間半の中にこのようにたくさん的人物を登場させ、多様なエピソードをちりばめることによって、メキシコと米国の近くて遠い関係を描き出している。米国は今やメキシコ人を中心とするヒスパニック社会なしに動かなくなってきたおり、どこにいてもスペイン語での説明がなされるようになってきている。実際に、メキシコを訪れて現地の人にインタビューしても親戚の誰かが出稼ぎにいたり、ある意味ですごく近い関係になっている。

私が研究対象としている小売産業に限ってみても、メキシコの最大の小売業者はウォルマートであるし、米国のスーパーマーケットにはメキシコの食材が必需品として置かれている。このように、メキシコと米国との結びつきが密接になっているのもかわらず、互いの価値観が尊重されているかどうかということを考えれば疑問符が付く。

NAFTA（北米自由貿易協定）によって国内の格差が拡大したメキシコ社会において、恩恵を受けているのは一部の人々であり、映画の中で描かれた多くのエピソードも、こうした近くて遠い関係の不均衡な歩み寄りの一端を示しているように思われる。すでに述べたように、この作品をエンタテインメントとしてとらえると疑問符が付く。しかし、それぞれのエピソードは多様な問題を提起しており、十分に見る価値があるといえる。

石敢當と山羊汁

経営学部

矢田 博士

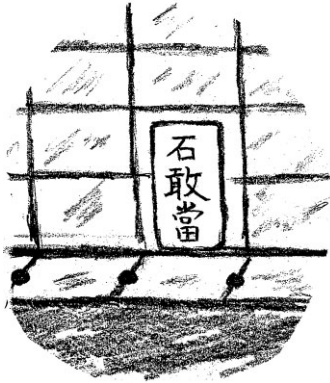
一、はじめに

この夏、沖縄に行ってきた。初めて沖縄の地に足を踏み入れて気づいたことは、沖縄には、日本本土、少なくともこの辺りでは、ほとんど目にする事のない独特の風俗・習慣が数多く見られるということだ。沖縄は観光地として有名なところなので、すでに行ったことがあり、ご存知の方もいるかと思われるが、一方では、まだ一度も行ったことのない人もいるであろうから、この機会に、私がそこで見たり聞いたり、あるいは後で調べたりしたことを紹介してみたいと思う。ただ、その全てを紹介するのは紙幅の関係から無理があるので、その中から最も深く印象に残った「石敢當」と「山羊汁」を対象を絞ることとする。

二、石敢當

沖縄の道を歩いていると、——と言っても、私が訪れたのは沖縄本島的那覇市の「国際通り」、初日に宿泊した宜野湾市、国頭郡にある「沖縄美ら海水族館」、知念村にある「齋場御嶽」、そしてその東の海上に浮かぶ「久高島」に限られるのであるが、——直進して丁字路の突き当たりにはさしかかったあたりで、必ずといってよいほど、「石敢當」という文字に出くわすのである。正確に言うと、「石敢當」と刻まれた石の碑が突き当たりの正面の塀の前に置かれていたり、あるいはその

ように刻まれた石の板が塀の壁にはめ込まれていたりするのだ。



これはいったい何かと言えば、一種の「魔除けのおまじない」なのだそうだ。魔物は角を曲がるのが苦手で、道を直進するものらしい。よって、丁字路の突き当たりに民家などがあれば、魔物はそのまま直進して塀の壁を突き破って侵入してしまうのだ。そこでそれを防ぐためにそのような場所に「石敢當」と刻んだ石の碑や石の板を設置するのだそうだ。

では「石敢當」とは、どのような意味なのか。「當」には、「防ぎ止める、さえぎる」等の意味がある。「敢」は動詞の前に用いられて、強い意志をもって行動することを表す。おそらく「石敢當」とは、直進して来る魔物に対して、「石が果敢いしに立ち向かおう」といった意味なのだろう。訓読すれば「石あ 敢あえて當たらん」とでもなるうか。

そもそも、この「石敢當」という言葉の由来は古く、史游しゆうという中国の前漢時代の人しゆうが編集した『急就篇きゅうしゅうへん』の巻一に、早くもそれが見える。『急就篇』は漢字を教えるための教科書の類で、その巻一は、例えば「衛益壽（衛氏は寿命を益す）」「任逢時（任氏は良い時に逢う）」「桓賢良（桓氏は賢良だ）」などのように、人の姓を表す一つの漢字に二つの漢字から成る言葉を加えた、合計三字から成る言葉を列挙して、漢字を覚えさせるといった形式をとっている。よって、「石敢當」もまた、もとは「石氏せきは果敢に立ち向かう」といった意味であったようだ。ちなみに、唐の顔師古の注には以下のように言う。

衛に石碁・石買・石悪有り。鄭に石癸・石楚・石制有り。皆な石氏と為す。周に石速有り。齊に石之紛ま如有り。其の後も亦た以もって族に命なづく。「敢あえて當あたる」とは、當たる所、敵無きを言うなり。

おそらく物質としての石が備え持つ硬い性質が、向かってくる魔物を防ぎ止めるのに適していることから、人の姓であった「石（せき）」から物質の「石（いし）」へと、いつしか置き換えられて解釈されるようになったのであろう。

三、山羊汁

沖縄美ら海水族館へ行く途中、国道沿いの沖縄料理店で食事をとることにした。今回の旅行で各地を案内してくれた沖縄生まれ沖縄育ちの平良さんという妻の友人が、しきりに山羊の肉を食べるよう勧めるので、勇気を出して食べてみた。ピパーツという胡椒に似た香辛料で香り付けをした汁に、山羊の肉を骨と内臓ごと入れて煮込み、それにヨモギを薬味として加えたもので、中にぶよぶよとしたものが混じっていることがあるが、それは山羊の血が固まったものだそうだ。なかなかの美味ではあるが、なんといっても臭いがきつい。歯の間に挟まったものを取らずにいると、その日は一日、山羊の香りを楽しめる。

沖縄では山羊のことをヒージャーと呼ぶ。山羊汁は正式には「ヒージャグスイ（山羊薬膳料理）」と言い、沖縄の代表的な精力料理なのだそうだ。町中まちなかのスーパーや市場などでも当たり前のように山羊のもも肉が売られている。以前は食肉用として山羊を飼っていた家も多かったそうだ。実際、妻の友人も子供のころ山羊を飼っていたとのことで、ただペットのように名前を付けてしまうと、情が移り食べにくくなるので、単に「ヤギ」と呼んでいたそうだ。



山羊汁

ついでながら、その沖縄料理店の壁に、他の料理のメニューと並んで「ヒト肉あります」と書いた紙が貼ってあった。えっ、そんなものまで食べるのか、と思って、恐る恐る注文してみたところ、イルカの肉を唐揚げにしたものであった。沖縄ではイルカのことを「ヒートウー」と呼ぶのだそう。味はクジラの肉に似ている。そもそもイルカはクジラの一類で、クジラの中で小形のハクジラ類をイルカと総称しているのだから、味が似ていて当然であろう。

それはともかく、沖縄に行かれることがあったら、ぜひ山羊汁に挑戦されることをお勧めする。



ヒト肉

四、おわりに

わずか三泊四日という滞在期間であったが、妻の友人の案内のおかげで、密度の濃い体験が出来た。石敢當と山羊汁のほかにも、首里城近くの瑞泉という泡盛工場を見学したこと、沖縄美ら海水族館でジンベイザメの餌付けを見たこと、斎場御

嶽^{たき}という世界遺産にも指定されている霊地にお参りしたこと、琉球民族の祖先で「アマミキヨ、シネリキヨ」という男女の神が最初に降臨したとされ、「神の島」と崇拝されている久高島に渡ったこと、普天間飛行場代替施設の建設予定地とされている^{ふてんま}普天間^{くたかしま}の海で、座り込みの抗議行動をしている人たちの姿を見て、沖縄の厳しい現実を思い知らされたこと、国際通りに通じる市場通りの公設市場で、ウミブドウや^{みみがー}耳皮（豚の耳の皮）を試食し、^{ちらがー}面皮（豚の顔面の皮）やイラブー（うみへび）といった珍しい食材を見て回ったこと、——等々、紹介したいことはたくさんあるのだが、この辺で筆を擱くこととする。

《参考文献》

- 『増訂 沖縄の習俗と信仰』窪徳忠著、東京大学出版会、1974年
- 『沖縄生活誌』高良勉著、岩波新書、2005年
- 『日本人の魂の原郷 沖縄久高島』比嘉康雄著、集英社新書、2005年
- 『沖縄いろいろ事典』ナイチャーズ編、新潮社とんぼの本、2004年

クイーンズ・イングリッシュ への裏道

経営学部
安藤 聡

かなり昔の話だが、暮れも押し迫ったある晩を友人宅で無為に過ごしていた時のこと、見るとはなしに見ていたテレビではエリザベス女王が恒例のスピーチを行っていた。すると唐突に、友人が耳を疑うような台詞を吐いた。曰く、「この人、英語ヘタだな」と。私はまずどこから反論したらよいのかさえわからず、言葉を失うばかりだった。いいか、この人の英語こそが文字通りの「クイーンズ・イングリッシュ」であり、いやそもそもクイーンズ・イングリッシュ、あるいはキングズ・イングリッシュとは・・・と説明しようかとも思ったのだが、私はそれも面倒に思えて、ただ一言、「お前、面白いこと言うなあ」と呟いただけだった。

だがよく考えてみれば、この友人の言いたいこともわからないわけではない。とくに英語に関しての知識を持たない普通の日本人にとっては、米国の（それも西海岸あたりの）方言こそが「英語らしい英語」であり、それは母音の後のアールの音を必要以上に舌を巻いて捻り出し、あるいは‘Japan’を「ジェアペア～ン」などと、‘water’を「ウワラ～」などと発音するような、カギカッコ付きの「英語」なのである。たとえば‘twenty’を「トゥエンティ」とちゃんと発音するのは日本人のカタカナ英語のようであり、「トゥエニー」というのが「英語らしくて」「格好いい」と思っている日本人は少なくない。聞いた話だがある米国企業の日本支社では、コピーのことを「カピー」

と称しているという。こんなのを英語らしい英語だと思われた日には、シェイクスピアやジェームズ一世やBBCアナウンサーやオクスフォード大学出版局、それに何と云ってもエリザベス女王の立場がない。元来の「標準的な」英語は「原則として」スペリング通りにひとつひとつの音をはっきりと発音するのである。こういう英語なら世界中（少なくとも英語が通じる国であれば）どこへ行っても立派に通用し、尊敬される。しかしこのような発音が結果的に、くだんの友人をはじめとする多くの日本人には「英語らしくない英語」に聞こえてしまうのであろう。と、このように大上段に構えて偉そうに解説している私自身も、中学高校時代に習った「英語の」教科書はほぼ米語一辺倒であり、大学時代にはミシガン・メソッドによるLLの授業を受けていたので、ある時期までは米語こそが本物の英語だと信じて疑わなかったのだ。だからエリザベス女王の英語を「ヘタだ」と称する友人の言わんとするところもわからなくはないのである。

クイーンズ・イングリッシュがある種のカタカナ英語のように聞こえるということは、逆に言えば、日本人のカタカナ英語にいくらかの「改良」を加えればクイーンズ・イングリッシュに近い立派な英語になる、ということになる。米語を英語らしい英語と勘違いしつつも、多くの日本人は「クイーンズ・イングリッシュ」という響きにある種の憧れを抱いている。それならばカタカナ英語の特性を逆に活かしてクイーンズ・イングリッシュに近づいてしまおうではないか。なお、私たち日本人が英語を話す場合、英国人（それも標準語を話す英国人）とまったく同じ発音をすることは不可能だし、またそうする必要もない。むしろ英語の発音に日本人らしさを残した方が望ましいという考え方が最近では主流になって来た。一方で子音エルとアールの混同に代表されるように、日本式カタカナ英語は思わぬ誤解を招くこともある。ここで私が提起するのは、最低限の子音の発音だけ英語らしくなるよう練習して、あとはカタカナ英語で代用するという方法である。これによ

て、もちろん完全にではないが結果的に割と「本物」に近い英語を話すことが可能になり、諸外国で立派に通じてしかも尊敬されるというおまげがついて来るのである。

「クイーンズ・イングリッシュ」というのは、ほぼ「標準英語」（いわゆるRP）と同義と考えてよい。このような英語に近づくために、まずは「f, l, r, th, v」の六つの子音の発音を練習する必要がある。五つしかないじゃないか、と言わないように。「th」には無声音（throwとかbreathなどの場合）と有声音（thisとかbreatheなど）がある。ただしこれら六つだけでは十分ではない。「b, d, m, n, p, t」が語尾に来る場合のために、これらの子音も練習しておく必要がある。たとえば‘cut’は「カット」ではなく「カッt」でなければならない。なぜなら「カット」と言うと語尾の‘t’の後に「オ」という母音が入ることになる。それなら他にも語尾の「k」や「s」などは練習しなくてよいのか、という疑問もあろうが、これらは必要ない。たとえば「駅まで歩く」と「私は学生です」を、それぞれ声に出して読んでみてほしい。たいていの人は最後の「く」と「す」を「k」、「s」と母音を伴わずに無声音の子音だけで発音しているであろう。（ただし関西方言ではこれらを文字通り「ku」、「su」と発音する傾向がある。だから関西弁ネイティブの人はこれらも練習するように。）それからこの六通りの語尾の子音の後に「s」がつく場合（つまり複数形や三単現の場合）も押さえておく必要がある。

子音「f」は「無声唇歯擦音」といって、下唇の内側を上の前歯で軽く噛んで、声帯を使わずに息だけで音を出す。この「f」を有声音にしたのが「v」（有声唇歯擦音）である。「l」（有声歯茎側流音）は舌の先を歯茎（上前歯の付け根あたり）に当てて声帯を使って発音する。一方で「r」（有声歯茎流音）は唇をすばめて舌先と歯茎の間で発音する。日本語のラ行の子音の前に小さく「ウ」の音（ワ行の子音のような音）があると考えるとよい。「l」と「r」を区別する練習方法をひとつ紹介しておこう。用意するものはティッシュペイ

パーを一枚。たいていは二枚で一組になっているから、剥がして一枚にした方が使いやすい。この一枚のティッシュペーパーの端を軽くつまんで、自分の鼻に当てて口の前に垂らす。そして、「lice / rice」でも「light / right (write)」でも何でもよいから「l」と「r」で対になっている単語を発音する。この時に、「l」を発音する瞬間にはティッシュペーパーが動いてはいけない。「r」では逆に動かなければいけない。というわけで「l」と「r」の発音を身につけたら次は「th」である。これはまず舌の先端を上下の前歯で軽く噛む。そして声帯を使わずに息だけで発音するのが無声歯擦音の「th」、声帯を使うのが有声歯擦音の「th」である。

語尾の子音はまず「b」と「p」から練習しよう。いずれも唇を閉じた状態から破裂させるように息を押し出して発音するが、この時に声を出すのが「b」（有声両唇閉鎖音）、出さないのが「p」（無声両唇閉鎖音）である。有声歯茎閉鎖音「d」と無声歯茎閉鎖音「t」は先ほどの「l」の時と同様、舌の先を上歯茎に当てて、その位置で息を破裂させて発音する。有声両唇鼻音「m」は唇を閉じたまま声帯を使って発音する。（ちなみに、この子音は幼児が最初に覚える子音であり、したがってすべての言語において「母親」と「食べ物」を意味する幼児語は「m」の子音で始まる。）有声歯茎鼻音「n」は舌の先端を「l」や「d」と「t」の時と同じく上前歯の付け根に当て、唇を少し開いた状態で声を出す。日本語の「ン」というよりは「ンヌ」に近い音になる。舌先をこの位置に当てていないと、たとえば現在分詞（～ing）の語尾のような「ング」という音（有声軟口蓋鼻音）になってしまうので注意されたい。

これら以外の音はたいてい日本語の五十音のどれかで代用できる。あとはそれぞれの単語の強勢（いわゆる「アクセント」のことだが、英語ではこういう場合‘stress’という）と、センテンスの中でどの語が強く発音されるかということを得ておけば完璧だ。というわけでこの原稿もここで終わってしまってもよいのだが、せっかくだからシェイクスピアのソネット（十四行詩）を使って実際

に発音練習をしてみよう。語尾の子音をカタカナで表記している語については、その子音の後に母音を介在させないように注意されたい。太字は強勢を表すが、韻律よりも意味を優先した箇所があることをお断りしておく。

Who will believe my verse in time to come.

フー・ウィ^l・ビ^lイー^v・マイ・^vアース・イン・
タイ^m・トゥ・カ^m

(誰が私の詩を信じるだろうか、来たるべき未来に)

If it were filled with your most high deserts? --

イ^f・イ^t・ワー・^fイ^ld・ウィth・ヨー・^mオウst・
ハイ・^{de}ザーツ

(たとえこの詩でどんなに君を賛美したとしても)

Though yet, heaven knows, it is but as a tomb

thオウ・イ^{et}・^{he}vn・ノウズ・イ^t・イズ・バ^t・
アズ・ア・トゥー^m

(それでも、確かに、この詩は墓石のようなものに過ぎない)

Which hides your life, and shows not half your parts.

ウィ^{tt}チ・ハイ^{ds}・ヨー・^lアイ^f・アnd・シヨ
ウズ・ノ^t・ハー^f・ヨー・パー^{ts}

(この詩は君の生涯を隠匿し、その半分も示すことが出来ない)

If I could write the beauty of your eyes

イ^f・アイ・ク^d・^rアイ^t・thア・ビュー^{ty}・
オ^v・ヨー^rアイ^z

(もし私が君の瞳の美しさを書くことが出来たとしても)

And in fresh numbers number all your graces,

アnd・イⁿ・^{fr}エ^{sh}ユ・ナン^{bers}・ナン^{ber}・
オー^l・ヨー・^{gr}エイ^{ss}イズ

(そして拙い一連の詩の中で君の美を数え尽くしたとしても)

The age to come would say This poet lies;

thイ・エイ^z・トゥ・カ^m・ウ^d・セイ・thイ^s・
ポ^{et}・^lアイ^z

(未来の世代は言うだろう、「この詩人は嘘吐

きだ)

such heavenly touches ne'er touched earthly faces.'

サッチ・^{he}vⁿlイ・^{ta}ッチ^{iz}・^{ne}ア・^{ta}ッチ
t・^{ea}rthlイ・^{fa}イス^{iz}

(天上の筆致で地上の顔を描けるわけがない)と)

So should my papers, yellowed with their age,

ソウ・シユ^d・マイ・ペイ^{per}ズ・イ^{el}オウ^d・
ウィth・thエア^rエイ^z

(それゆえ私の原稿は、時を経て黄ばみ、)

Be scorned, like old men of less truth than tongue,

ビー・スコrd・^lアイ^k・オウ^{ld}・^{me}n・オ^v・
^lエ^s・^{tr}ウーth・thアⁿ・ト^{ng}グ

(軽蔑されるだろう、まるで口先だけの嘘吐き老人のようだと、)

And your true rights be termed a poet's rage

アnd・ヨー・^{tr}ウー^rアイ^{ts}・ビー・ター^{md}・
ア・ポ^{et}ツ・^rエイ^z

(そして君への正統な賛辞も詩人の狂気と称され、)

And stretched metre of an antique song.

アnd・^{str}エ^{tt}チ^t・ミー^{ter}・オ^v・アⁿ・アⁿ
ティーク・ソ^{ng}グ

(また古くさい歌に特有の誇張された韻律と称されるだろう。)

But were some child of yours alive that time,

バ^t・ワー・サ^m・チャ^{il}d・オ^v・ヨーズ・ア^l
アイ^v・thア^t・タイ^m

(だがもしその時君の子供が生きていたら、)

You should live twice: in it, and in my rhyme.

ユー・シユ^d・^lイ^v・^tワイ^s・イⁿ・イ^t・アnd・
イⁿ・マイ・^rアイ^m

(君もまた生きるだろう、その子の中に、そして私の詩の中に。)

これはソネットの第十七番である。(シェイクスピアはソネットにタイトルを付けていないので、ソネットはすべて番号で呼ばれる。) 詩人がある「美しい人」に向かって、「私の詩でいくら君の美しさを讃えても未来の人々には信じてもらえない。

だから早く結婚して子をつくり、君の美（の証拠）を未来に残しなさい。そうすれば君の美も私の詩も生き続けることになる」と言っているのである。だが、この「君」というのが実はある名家の若い男である、という事実はシェイクスピア研究家の間ではすでに常識となっている。それが実際に誰なのかについては二説あるが。

それはともかく、自分の英語をクイーンズ・イングリッシュらしくするもうひとつのコツを伝授しよう。それは‘stiff upper-lip’である。これは文字通りには「堅い上唇」あるいは「堅い鼻の下」（upper-lip は上唇の粘膜の部分だけでなく、鼻と口の間の部分をも含む）という意味だが、転じて感情が顔に出ないイングランド人の性質を表すイディオムとして使われる。ここで言うのはイディオムの方ではなく文字通りの意味の方であり、実際アップパー・ミドル・クラス以上のイングランド人が英語を話すときには上唇と鼻の下があまり動かない。これを真似して上唇と鼻の下をあまり動かさずに発音すると、あるいはあまり口を大きく開けずにポソポソと呟くように発音すると、より「本物」らしい英語に聞こえるようだ。

2006年度より 仏検に準2級新設

経営学部

田川 光照

実用フランス語技能検定試験、通称「仏検」に
来年度より準2級が新設されることになった。

2005年度まで、仏検の級分けは下から5級、4級、3級、2級、準1級、1級という6つの級に分けられてきたが、ここで問題だったのは、3級と2級との間でのギャップであった。仏検のパンフレットで、3級と2級について次のように説明されている。

3級：「基本的なフランス語を理解し、簡単なフランス語を聞き、話し、読み、書くことができる。学習200時間以上（大学の2年修了程度。一部高校生も対象となる）。」

2級：「日常生活や普通の職場で必要なフランス語を理解し、特に口頭で表現できる。学習400時間以上（4年制大学のフランス語専門課程4年程度で、読む力ばかりでなく、聞き、話し、ある程度書く力も要求される）。」

この説明からも分かるように、3級は、フランス語を専門的に学習するわけではない学生でも2年間まじめに勉強すれば合格可能であるのに対して、2級は、そのような学生にはとうてい手の届くものではない。実際、これまで本学名古屋校舎の学生で3級をとる人は時々いるが、2級をとった人はひとりもいない。名古屋校舎のカリキュラムでは「フランス語上級」が設けられているとはいえ、それを3年次と4年次の2年間受講したとしても、2級はまず無理である。

この3級と2級とのギャップは、仏検全体の出

願者数と合格率にもはっきりと現れており、たとえば2004年秋季の場合、3級の出願者は5,536人で合格者3,345人、合格率72.1%に対して、2級の出願者は3,654人で合格者906人、合格率29.1%であった。このようなぐあいであるので、3級と2級を橋渡しする準2級の開設が長らく待たれていたのであるが、ようやく来年度にそれが実現されることになったのである。これで、3級合格者は次の目標を目指しやすくなる。

では、準2級の試験内容はどのようなものになるのかというと、それは2級以上と同じように一次試験と2次試験からなる。一次試験は、筆記試験と書き取り・聞き取り試験からなり、試験時間は前者が75分、後者が30分、配点は筆記70点、書き取り12点、聞き取り18点で、2次試験は、5分間の面接試験で配点は30点である。これ以上詳しいことは残念ながら分からないが、ひとつだけ付け加えておくと、準2級は2級と3級の間ではあるが「3級寄り」だそうである。

以上のようなことから、現行カリキュラムおよび2006年度入学生から適用される新カリキュラムを前提に、名古屋校舎の学生が仏検を受験する場合の目安は次のようになるであろう。

1年次終了時点または2年次春学期終了時点で5級。ただし、2年次で「発展」を受講して一生懸命勉強すれば2年次春学期終了時点で4級。

2年次秋学期終了時点で4級。ただし、「発展」を受講して一生懸命勉強すれば3級も可能。

さらに「上級」を3年次、4年次と続けて受講した場合には、3年次春学期終了時点または秋学期終了時点で3級、4年次春学期終了時点または秋学期終了時点で準2級といったところであろう。

なお、たとえば5級から3級までは必ず数に関する問題が出題されるなど、問題の内容や形式が一定しているので、受験する場合は必ず過去問や対策本（図書館内メディアゾーンにある）で勉強していただきたい。また、4級以上に合格した場合には、語学教育研究室から検定奨励金として図書券が交付されるので、必ず同研究室に届け出てください。

(海外最新事情)

イギリス

(1) 数独ブーム

すでに日本の新聞やニュースでも幾度か報道されているが、一年ほど前から英国では数独 (Su Doku または Sudoku) という数字パズルが流行している。縦横9マスずつの将棋盤のようなマス目の各列に1から9までの数字を埋めて行くのだが、縦横とも同じ数字は一列に一度しか使えない。いくつかの数字があらかじめ記入された状態で出題されるので、その配置によっていろいろな難易度の問題を作ることができる。2005年の夏には、英国とアイルランド共和国のどの町に行っても必ず書店にはさまざまな種類の数独本が平積みされていた。

数独というその名称からも明らかとおり、このパズルは日本で発明されたものである。日本には1980年代からあったらしいのだが、元最高裁判官のウェイン・グールドが90年代末頃に香港経由で英国に伝え、2004年11月に『タイムズ』が紙上に連載を始めて以来、英国とアイルランドに急速に広まったという。もともとクロスワードに熱狂する国民なので、この数字パズルの普及にも大して時間はかからなかった。

2005年11月16日にはチェルトナム文学祭のイベントのひとつとして、数独の全国大会が開催された。成人の部優勝者はシェフィールド大学で数学を専攻する18歳の女子学生である。大会では回答時間の短さが競われ、この優勝者ニーナ・ペルは決勝戦の難易度特上の問題を13分48秒で解いた。二位との差は9秒だった。翌日の『タイムズ』で彼女は、「数独は論理的だが、それほど数学的というわけではない (It's not mathematical so much

as being very logical)」と語っている。グールド自身も同様な発言をしているが、彼は同時に「数学と論理学は高い次元では同じことだ」とも言っている。

10月10日の『テレグラフ』によれば、数学者サー・マイケル・アティヤはロイヤル・ソサイエティ・オヴ・エディンバラ就任記念講演で数独に言及し、このパズルが若者たちの数学への関心を喚起すると確信している、と話している。

「数独」の英語表記は『タイムズ』では 'Su Doku'、『テレグラフ』、『ガーディアン』などでは 'Sudoku' と綴っている。数独を試してみたい人は以下のサイトを訪問するとよい。

<http://www.nikoli.co.jp/puzzles/1/>

追記：数独本は「ナンプレ」という名称で世界文化社と角川文庫から出版されていることを最近知った。

(2) パブの全面禁煙化

英国でも健康増進法 (the Health Improvement Bill) の主旨に従って公共の場所を全面的に禁煙化する動きがある。隣のアイルランド共和国ではすでに、2004年5月から飲食店やホテル、会社、会員制クラブなどあらゆる「公共の」「密閉された空間」での喫煙が法律で禁じられている。北アイルランドでも2005年10月中旬に全面禁煙化の法案が可決された。肺癌による死亡率が異常に高いスコットランドでも2006年5月26日から禁煙化される予定だ。残るはイングランドとウェールズである。

ところが、イングランドという国は何事にも足並みが揃わない国なのである。今回の禁煙化法案についても、その適用範囲をめぐる延々と議論

が続いている。全面禁煙化を推進する保健相パトリシア・ヒューイト、文化相テッサ・ジャウェル、労働年金相デイヴィッド・ブランケットらに対して防衛相ジョン・リード（前保健相）や外相ジャック・ストローらが先の総選挙時に労働党が発表したマニフェストを盾に阻止しようとしている、という図式だ。労働党マニフェストでは、レストランや食事を提供するパブには全面禁煙化を強制する一方で飲み物しか販売しないパブにはそれを適用しない、ということになっていた。ブレア首相もまた、全面禁煙化は「余計な干渉」だと考えて消極的な姿勢を示している。

ヒューイトは妥協案として、喫煙を許可するパブや会員制クラブに密閉された喫煙室を設けることを考えた。10月23日の『サンデー・タイムズ』によると彼女の意図はこの喫煙空間を「なるべく不快な場所にすることが目的」だという。だが結局26日の予定だった全面禁煙化法案の公布は延期された。この日の『タイムズ』には王立医科大学のジョン・ブリトン教授の「全面禁煙化の方がうまく機能する」という意見が掲載されている。確かに、規則に例外を設ければその例外の適用範囲や解釈をめぐる問題が起こることは目に見えている。この記事では、労働党の下院議員アンドリュー・マッキンレイの「いかなる妥協も混乱を招く。全面禁煙化しかあり得ない」という見解も伝えられている。

翌27日にこの法案は一日遅れで公布され、結局は労働党のマニフェスト通りに「中途半端な形で」、当初の予定より18ヶ月遅れてイングランドとウェールズで2007年夏から施行されることになった。この日の『テレグラフ』にはこれに対する禁煙推進派の怒りの声が紹介されていて、英国癌研究会（Cancer Research UK）の理事アレックス・マーカム教授は、「政府は医師、チャリティ団体、そして国民の声をまったく聞いていない。大多数は例外なき禁煙化法案を支持しているのだ」と述べている。一方でヒューイトは、この法案が完全なものではないと認めつつも、これは将来の全面禁煙化への大きな第一歩であり、三年後の見直し

の際に全面禁煙化する見通しがある、と述べている。『タイムズ』や『テレグラフ』の投書欄に寄せられた声には全面禁煙化を支持するものが圧倒的に多く、また全面禁煙化を実現できなかったヒューイトを厳しく批判する声もあった。

一方で同じ日の『タイムズ』では、禁煙化が施行された時には食事の提供をやめる予定と解答したパブが2割に達する、と報道されている。これは『パブリカンズ』誌が行った調査に対する解答で、イングランドとウェールズの食事のメニューを置いているパブおよそ42,000軒のうち、65パーセントが禁煙化予定、20パーセントが食事メニューを廃止予定、15パーセントが無回答、という結果を伝えたものである。

30日の『テレグラフ』には、この禁煙法案をめぐる「よくある質問とその解答」が掲載されていた。一日のうち一定時間でも、あるいは週のうち一定曜日のみでも、食べ物を提供するパブはつねに禁煙、建物の一部がレストランになっているパブは飲み物だけのコーナーも含め全面禁煙、ただし屋外のビア・ガーデンでは喫煙可、一方で飲み物だけの喫煙可のパブでもカウンター付近は禁煙、またこういう喫煙可能なパブでもスナック類を販売することは可能、なんだそうである。こんな隙間だらけの法律が上手く機能するわけないと思うのだが。また同じ日の『インディペンデント』の記事によると、ウェストミンスターの国会議事堂の中にあるバーの何カ所かが喫煙可能なまま放置されることに対する怒りの声が上がっているらしい。（安藤 聡）

韓 国

韓中キムチ紛争

韓国での食事と言えばまず思い出すのがキムチ。キムチなしの食事は考えられない。そのキムチから寄生虫卵が検出されたのであるから大変である。

11月3日、韓国の食品医薬品安全庁は韓国産ハクサイキムチから寄生虫卵が検出されたことを発

表した。ハクサイキムチを生産している502の業者のキムチを検査した結果、16の製品（全体の3.2%）から寄生虫卵が検出されたというのである。このことは、さっそく同日のNHKニュースなどでも報道されたが、非常に簡単な内容であるので、ここでもう少し詳しく紹介しようと思う。

見つかった寄生虫卵の内訳はカイチュウ卵4件、犬・猫のカイチュウ卵9件、その他3件である。寄生虫卵が検出されたキムチの原材料54件を追跡調査した結果、韓国産の塩漬けハクサイ1件から寄生虫卵が検出された。またこれとは別に、市中に流通している韓国産ハクサイ165個を食品医薬品安全庁が検査した結果、8個から寄生虫卵が検出された。その内訳はカイチュウ卵2件、犬・猫のカイチュウ卵5件、カイチュウと犬のカイチュウの混ざったもの1件などであった。

このように犬・猫のカイチュウ卵が相当数見つかったことは、放し飼いにされた犬や猫の排泄物が原材料のハクサイにくっついたことによると、食品医薬品安全庁は分析している。ともかく、食品医薬品安全庁は寄生虫卵が検出されたキムチ製造業者16社の在庫472kgを押収し、当該業者から生産されているキムチに対しては必ず検査を実施し、問題がない場合にだけ流通させる措置をとるとともに、今回寄生虫卵が検出されなかった業者に対しても定期的な寄生虫検査をするよう行政指導すること、衛生的なキムチ生産のためのマニュアルを配付することなど、食品の安全についての施策を推進すると発表した。

ただし、寄生虫卵が付着したキムチを食べても、今回検出されたものは未成熟卵なので、成長する前に排泄されるし、また動物の寄生虫は人間に移ることはないので、人体に対する影響はないと言われている。

これを機会にキムチの衛生管理が徹底すれば、年間約3万トンのキムチ（韓国のキムチ輸出量の90%以上）を輸入している日本としても、めでたしめでたし、というところである。ところがこのキムチ騒動にはもうひとつ別の側面もあり、そう単純ではない。それは中国との「キムチ紛争」で

ある。

上述の食品医薬品安全庁による発表の3日前、すなわち10月31日に中国が韓国産キムチとコチュジャン10製品から寄生虫卵が検出されたことと発表し、輸入禁止措置をとっていたのである。ところで、ややこしいけれどもこれにも前史がある。つまり、今年に入って、韓国は中国からの輸入食品の安全性に問題があることを相次いで発表し、輸入禁止措置などをとっていたのである。たとえば7月26日には中国産のウナギに、8月30日には中国産のコイヤフナからマラカイトグリーン（魚の病気に効果のある劇薬）が検出されたことを発表していた。キムチの関係では、9月25日にハンナラ党の議員が中国産キムチから鉛が検出されたことと主張し（これに対しては食品医薬品安全庁が、人体に害にならない程度の含有量であることを発表した）、10月21日には中国産キムチ8製品から寄生虫卵が検出されたことを発表していたのである。

そこで、上述の10月31日の韓国産キムチやコチュジャンから寄生虫卵が見つかったという中国の発表は、中国への輸出実績のない業者名が挙げられていたり業者名や製品名があやふやなことなど、さまざまな理由のために、中国からの輸入食品の安全性に対する韓国の発表に対する報復なのではないかというのが、韓国での受け止め方であった。

そこへ、韓国産のキムチからも本当に寄生虫卵が検出されたのであるから、中国側としては「それを見る、こっちの言っていることが本当だろう」と言うことになることは明らかである。とはいえ、韓中の関係がこれによって悪化するかといえ、おそらくそうはならないであろう。

というのも、まず第一に、10月31日の韓国産キムチから寄生虫卵が検出されたという中国の発表と、11月3日の韓国産キムチから寄生虫卵が発見されたという食品医薬品安全庁の発表の間にも、この問題が全面的な韓中貿易摩擦までには至らないであろうという観測が、少なくとも韓国ではなされていたからである。その根拠はいくつかあるが、そのひとつは韓中間の経済関係の緊密さである。すなわち、昨年、中国にとって韓国はアメリカ

カに次ぐ最大の貿易国になったということ、中国への投資の面でも韓国は香港と租税回避地（タックスヘブン）のバージニアアイランドに次ぐ投資国になったということである。

このような見方があった上に、11月1日には中国も自国産キムチの輸出にあたっての検疫を強化したのである。その結果、中国産キムチの韓国への輸出量は5分の1ほど減少したという。

このように、経済的関係だけでなく、韓国も中国もキムチの製造・輸出に関して検疫を強化しようとしているのであり、結局は両者が歩み寄ることになるのではないかと思われる。

この原稿はまさに食品医薬品安全庁が韓国産キムチから寄生虫卵が検出されたことを発表した11月3日に書いたものであることをお断りしておく。この「語研ニュース」が出る頃にはとっくに過去の出来事になっていると思うが、その時、韓中「キムチ紛争」が無事に落ち着くべきところに落ち着いていることを願ってやまない。

(田川光照)

本年（2005年）10月末から11月にかけて、移民系住民が多く住むフランス各地の都市郊外で若者による暴動が起こった。この種の暴動は以前からあったが、今回のものはその規模と広がりにおいて類を見ないものであった。

これには様々な背景がある。メディアでも取り上げられていたように、差別による移民系住民、とくに若者の失業率の高さ、「共和国」の理念を絶対的なものとした、つまり同化を前提にした、フランスの移民受け入れのあり方における問題、等々といったことである。

ところで、今回の暴動の発火点となったパリ郊外は、以前は共産党が根付いた「赤い郊外」と呼ばれていた。しかし、とりわけ冷戦終結後、共産党や労組が弱体化し、郊外の移民が抱えている問題を吸い上げて、制度的に解決する道が閉ざされてしまったのである。その結果、彼らの抱える問題は個人の次元に押し込められることになった。しかし、個人の力は限られている。結局は、彼らの抱える問題は肥大し、絶望、怒りといったものが極限まで蓄積し、何らかのきっかけがあればたちまち爆発することになる（今回の場合、警官に追われた若者二人が変電所に逃げ込み感電死したことが発端となった）。

しかるに、暴動に参加した子供の親に責任を課し、自治体などによる家族手当をカットする動きがあるという報道に接した時には、唖然とした。これは、問題をますます個人の次元に押し込めていっそうの絶望と怒りに追いやることでしかないであろう。問題は、社会と制度なのである。

2003年度の推計で日本には約79万人の外国人労働者がいるという。少子化によって、近い将来労働力が決定的に不足し、大量の外国人労働者さらには移民の受け入れを強いられることになるかもしれない。その時、日本はその人々をどのように受け入れ、日本人はその人々とどのように接するのか。今回のフランスでの暴動を他山の石とすべきである。

(田川光照)

コンピュータで英語を学ぼう！

このたび、英語 e-Learning 教材“ALC Net Academy”を導入しました。積極的に利用して語学力アップを目指しましょう。

使用できるパソコンは学内に設置の教育用のものです。豊橋校舎・車道校舎から利用できます。(学外からは利用不可。)

次の2コースがあります。

(1) スタンダードコース

5段階のステップ学習で、全100ユニットのリーディング、リスニングを多角的に学習します。また TOEIC® テストに準拠した10ユニットの模試で実践力をつけます。

(2) 初級・中級者のための TOEIC® テストスコアアップコース

スタンダードコースよりも難易度が低めのコース。英語学習の初級・中級者を対象にした日常的、実践的なトピックスで TOEIC® テストスコアアップを目指します。

受講するには利用申請が必要です。

申し込み先：名古屋語学教育研究室・車道教学課

ログインに必要なアカウントとパスワードを発行します。

料金は必要ありません。

名古屋語学教育研究室

2005年度 外国語検定試験奨励金制度について

名古屋語学教育研究室では、下記の基準にもとづいて、合格者には、奨励金（図書券）を贈って表彰しています。

本年度合格した学生には、奨励金（図書券）をお渡ししますので、名古屋語学教育研究室または車道教学課まで申し出て下さい。

・ 奨励基準

<英語> 対象者：法学部生 経営学部生 現代中国学部生

英語検定	準1級以上	国連英語	B級以上
TOEIC	530点以上	通訳検定	3級以上
TOEFL (Paper-Based)	460点以上	商業英検	B級以上
(Computer-Based)	140点以上	ガイド試験	合格

<フランス語> 対象者：法学部生 経営学部生 現代中国学部生

フランス語検定 4級以上

<ドイツ語> 対象者：法学部生 経営学部生 現代中国学部生

ドイツ語検定 4級以上

<中国語> 対象者：法学部生 経営学部生

中国語検定 4級以上

H S K 3級以上

<韓国・朝鮮語> 対象者：法学部生 経営学部生 現代中国学部生

ハングル検定 4級以上

<日本語（留学生）> 対象者：法学部生 経営学部生 現代中国学部生

日本語能力検定 1級

ジェトロビジネス日本語能力検定 480点以上

* 奨励金（図書券）の金額については、申し出期間終了後決定いたします。

* 申込者多数の場合、奨励基準が変更になることもあります。

・ 申し出締切

2006年1月31日（火）

名古屋語学教育研究室
または車道教学課まで

・ 学生証および合格通知書（成績証明書）を持参すること。

奨励金の交付は2005年2月以降に取得した者に限る。

本年度入学生については入学後、受験したものに限る。

編集後記

「語研ニュース」第14号をお届けします。

2005年も残りわずかとなりました。今年、出版界で話題になったことのひとつに、フランスの作家サン＝テグジュペリの童話『星の王子さま』の新訳本が続々と出されたことがあります。これは作者の死後50年が経ち、版權が切れて自由に翻訳出版ができるようになったためです。

『星の王子さま』は、1941年からアメリカに亡命していたサン＝テグジュペリが出版社の求めに応じて書いた大人向けの童話（著者自身による挿し絵入り）で、1943年にまずアメリカで英語版が出版され、作者の死後1945年にフランスで仏語版が出されました。この作品の原題は英語版が *The Little Prince*、仏語版が *Le Petit Prince* で、直訳すると『小さな王子』です。日本では、故・内藤濯先生による独創的なタイトル名『星の王子さま』で親しまれてきました。この内藤訳（岩波書店刊）を読んだことのある人も多いかと思いません。

今回の新訳ラッシュでは、タイトルがどう訳されるかが注目されたことのひとつです。結局、『星の王子さま』を踏襲したものが過半数で、原題を直訳した『小さな王子さま』と『小さな王子』が1点ずつ、原題をカタカナ表記した『プチ・フランス』が1点となりました（2005年12月4日現在）。

本文については、新訳が内藤訳をどう乗り越えているかが注目されるところです。たとえば、王子とキツネの対話で、キツネが *apprivoiser* とは *créer des liens* することだと説明する場面があります。この個所はこの童話の中でもっとも難解な一節とされており、内藤訳では「飼いならす」ことは「仲良くなる」ことだと訳されています。この部分をどう処理するかは訳者の解釈と日本語力が試されるところです。

この冬休みに、いくつかの訳書を読み比べてみるのも面白いかもしれません。参考のために、今年出された新訳本を以下に列挙しておきます。

池沢夏樹訳『星の王子さま』集英社（単行本と文庫本の両方がある）、倉橋由美子訳『星の王子さま』宝島社、山崎庸一郎訳『小さな王子さま』みすず書房、三野博司訳『星の王子さま』論創社、川上勉・甘樂美登利訳『プチ・フランス——新訳 星の王子さま』グラフ社（仏語原文も収録）、小島俊明訳『新訳 星の王子さま』中央公論新社、藤田尊潮訳『小さな王子——新訳 星の王子さま』八坂書房、辛酸なめこ訳『「新」訳 星の王子さま』コアマガジン（訳者は漫画家で、挿し絵は訳者による）。
(M.T.)